

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場取引所 大

上場会社名 ブロードメディア株式会社
 コード番号 4347 URL <http://www.broadmedia.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 橋本 太郎
 (氏名) 植村 保彦

TEL 03-6439-3725

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,001	△16.3	548	△23.1	620	△18.6	277	△44.8
23年3月期第3四半期	10,758	39.7	713	47.0	762	48.2	502	△64.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 680百万円 (294.9%) 23年3月期第3四半期 172百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	4.23	—
23年3月期第3四半期	7.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	11,303	7,231	59.4	102.90
23年3月期	9,676	6,771	65.8	96.62

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 6,710百万円 23年3月期 6,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
24年3月期	—	1.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△6.7	700	18.6	750	△9.6	500	10.9	7.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	66,723,516 株	23年3月期	66,723,516 株
24年3月期3Q	1,507,332 株	23年3月期	790,232 株
24年3月期3Q	65,570,781 株	23年3月期3Q	66,705,875 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期と比べ1,756,207千円(16.3%)減少し、9,001,943千円(前年同期は10,758,151千円)となりました。「放送」及び「技術」は増収となったものの、「ネットワーク営業」が減収となったこと等が減収の主な要因です。

営業利益は、前年同期と比べ164,877千円(23.1%)減少し、548,682千円(前年同期は713,559千円)となりました。「放送」及び「技術」は増益となったものの、「コンテンツ」及び「ネットワーク営業」が減益となったことに加え、「スタジオ」が営業損失を計上したことが減益の要因です。

経常利益は、前年同期と比べ142,217千円(18.6%)減少し、620,535千円(前年同期は762,753千円)となりました。上記営業利益の減益が主な要因です。

四半期純利益は、前年同期と比べ224,799千円(44.8%)減少し、277,454千円(前年同期は502,254千円)となりました。繰延税金資産の増加に伴い税金費用が減少したものの、経常利益の減益及び投資有価証券売却損224,103千円の計上により、四半期純利益は減益となりました。

[セグメント別事業内容(平成23年12月31日)]

セグメントの名称	事業内容	主な業務の内容	主な連結子会社
コンテンツ	ホームエンタテインメント	・テレビ向け動画配信サービス「T's TV レンタルビデオ」の提供 ・健康支援サービス「T's TV みんなのフィットネス」の運営	—
	映像サービス	・PC向け動画配信サービス「クラブビット・アリーナ」の提供	ハリウッドチャンネル(株)
	CS放送会員サービス	・CS放送視聴に関する独自の会員制サービス「Club iT」の運営	—
	モバイルサービス	・モバイル向けコンテンツ「ハリウッドチャンネル」「速報!ハリウッド★スクープ」「海外ドラマ★DX」等の企画・運営	ハリウッドチャンネル(株)
	教育サービス	・イーラーニングシステムを利用した単位制・通信制高校「ルネサンス高等学校」「ルネサンス豊田高等学校」の運営	ルネサンス・アカデミー(株)
	その他サービス	・「ナショナルジオグラフィック」日本語版公式サイト等の運営等	—
放送	釣り専門チャンネル	・衛星一般放送事業「釣りビジョン」の番組制作、放送及び、ケーブルテレビ局等への番組供給	(株)釣りビジョン
スタジオ	制作事業	・日本語字幕制作、日本語吹替制作、文字放送字幕制作、番組宣伝制作	ブロードメディア・スタジオ(株)
	番組販売事業	・ハリウッド映画等のテレビ局への供給	
	映画配給事業	・劇場映画の配給、DVD/Blu-rayの発売、テレビ放映権の販売	
技術	CDNサービス	・コンテンツを最適な形で配信するCDNサービスの提供	CDNソリューションズ(株)
	デジタルシネマサービス	・ブロードメディア*CDN for theaterの提供、及び上映システム的设计・販売	—
ネットワーク営業	ISPサービス販売	・「Yahoo! BB」ISPサービスの販売	—
	携帯電話サービスの取扱い	・「ソフトバンク・モバイル」の携帯電話サービスや携帯電話端末の取り扱い	—
	ブロードバンド回線販売	・ブロードバンド回線「Yahoo! BB」の販売	—
	その他	・その他商材の販売	—

当第3四半期連結累計期間における各セグメントごとの売上高及び営業利益の概況は、以下のとおりです。

①コンテンツ

「コンテンツ」セグメントは、ホームエンタテインメント、映像サービス、CS放送会員サービス、モバイルサービス、教育サービス及びその他サービスで構成されており、テレビ・PC向けの動画配信、モバイル向けのコンテンツ配信、CS放送視聴に関する独自の会員制サービス及び単位制・通信制高校に至るまでの広範な事業を行っております。

売上高は、前年同期と比べ39,499千円(2.2%)増加し、1,837,829千円(前年同期は1,798,330千円)となりました。CS放送会員サービス、PC向け動画配信サービスが減収となったものの、生徒数の増加等により教育サービスの売上高が大幅に増加したことが増収の主な要因です。

営業利益は、前年同期と比べ100,207千円(26.9%)減少し、271,793千円(前年同期は372,000千円)となりました。教育サービスが増益となったものの、ホームエンタテインメントにおいてコンテンツの投入を強化したことにより調達コストが増加したこと等が減益の主な要因です。

②放送

「放送」セグメントは、「釣りビジョン」の番組制作、放送及び、番組販売等を行っております。

売上高は、前年同期と比べ221,432千円(11.8%)増加し、2,102,204千円(前年同期は1,880,771千円)となりました。「釣りビジョン」の視聴可能世帯数の伸びが好調に推移していること等が増収の主な要因です。

営業利益は、前年同期と比べ68,614千円(51.9%)増加し、200,830千円(前年同期は132,216千円)となりました。増収となったことに加え、販売費及び一般管理費の削減を行ったことが増益の主な要因です。

③スタジオ

「スタジオ」セグメントは、映画やドラマ等の映像作品の調達、日本語字幕・吹替制作から、その作品の配給、販売を行っております。

売上高は、前年同期と比べ32,401千円(2.0%)減少し、1,621,839千円(前年同期は1,654,241千円)となりました。制作事業及び番組販売事業は増収となったものの、映画配給事業において興行収入が伸び悩んだことにより、減収となりました。

営業利益は、29,357千円の営業損失(前年同期は9,161千円の営業損失)となりました。上記減収となったことが減益の主な要因です。

④技術

「技術」セグメントは、「ブロードメディア®CDN」等のCDN(コンテンツ・デリバリー・ネットワーク)サービス及びデジタルシネマサービスを行っております。

売上高は、前年同期と比べ88,743千円(13.1%)増加し、767,492千円(前年同期は678,748千円)となりました。CDNサービスは、顧客企業の経費削減等の影響による配信料収入の低下が続いているものの、前第3四半期連結会計期間より開始したデジタルシネマサービスの売上高が順調に伸びてきていることが増収の要因です。

営業利益は、前年同期と比べ12,561千円(53.3%)増加し、36,115千円(前年同期は23,554千円)となりました。上記増収に加え、デジタルシネマサービスの立ち上げ準備費用等の販売費及び一般管理費を削減したことが増益の主な要因です。

⑤ネットワーク営業

「ネットワーク営業」セグメントは、ISPサービスや携帯電話サービス、ブロードバンド回線等の販売代理店として、通信回線販売業者等の事業者を通じて販売活動を行っております。

売上高は、前年同期と比べ2,073,482千円(43.7%)減少し、2,672,577千円(前年同期は4,746,059千円)となりました。前年同期に売上に大きく貢献したISPサービスの販売が減少したことが減収の主な要因です。

営業利益は、前年同期と比べ125,647千円(64.5%)減少し、69,300千円(前年同期は194,948千円)となりました。上記減収となったことが減益の主な要因です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,081,573千円増加し、7,354,491千円となりました。これは、売掛金や番組勘定が増加したこと等によります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ545,421千円増加し、3,948,844千円となりました。株式会社ゲームオンの株式を売却した一方、Gクラスタ・グローバル株式会社の株式を追加取得したことや、リース資産を取得したこと等により固定資産は増加いたしました。これらの結果、総資産は、前連結会計年度末と比べ1,626,995千円増加し、11,303,335千円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末と比べ367,437千円増加し、2,868,989千円となりました。これは、法人税等を支払ったことにより未払法人税等が減少した一方、買掛金が増加したことや、決算資金の借入により借入金が増加したこと等によります。固定負債は、前連結会計年度末と比べ799,884千円増加し、1,202,883千円となりました。これは、長期リース債務が増加したこと等によります。これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末と比べ1,167,321千円増加し、4,071,872千円となりました。

(ハ) 純資産

当第3四半期連結累計期間において、四半期純利益277,454千円を計上いたしました。また、投資有価証券を売却したことにより、その他有価証券評価差額金が283,151千円増加した一方、剰余金の配当196,803千円や自己株式の取得93,428千円を実施いたしました。これらの結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比べ459,673千円増加し、7,231,462千円となりました。これにより、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は59.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ5,054千円増加し、2,951,056千円となりました。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第3四半期連結累計期間においてマイナス20,670千円（前年同期はプラス591,810千円）となりました。税金等調整前四半期純利益390,938千円を計上したことに加え、支出を伴わない投資有価証券売却損222,548千円を計上いたしました。また、売上債権が増加したことや、コンテンツの調達により番組勘定等のたな卸資産が増加したことに加え、法人税等を258,503千円支払いました。これらの結果、営業活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなりました。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、当第3四半期連結累計期間においてマイナス547,215千円（前年同期はマイナス572,095千円）となりました。これは、投資有価証券の売却による収入842,732千円があった一方、固定資産の取得による支出741,804千円や、投資有価証券の取得による支出602,331千円があったこと等によるものです。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、当第3四半期連結累計期間においてプラス575,050千円（前年同期はマイナス27,720千円）となりました。これは、配当金の支払180,991千円や自己株式の取得93,428千円を行った一方、セール・アンド・リースバックによる収入747,421千円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月26日の決算発表時に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

※ 上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

特に下記要因により業績が異なる可能性があります。

- ・映画配給事業の売上が予想と異なる場合
- ・新規事業の進捗が見通しと異なる場合
- ・「ネットワーク営業」の進捗が見通しと異なる場合
- ・繰延税金資産の増減

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,996,501	3,101,555
受取手形及び売掛金	1,604,522	1,813,566
商品及び製品	13,266	12,372
仕掛品	91,665	119,893
原材料及び貯蔵品	28,498	16,505
番組勘定	991,284	1,482,108
その他	552,412	812,722
貸倒引当金	△5,235	△4,233
流動資産合計	6,272,917	7,354,491
固定資産		
有形固定資産	487,633	1,185,731
無形固定資産		
のれん	194,609	152,901
その他	450,840	451,062
無形固定資産合計	645,450	603,964
投資その他の資産		
投資有価証券	1,894,162	1,826,580
その他	377,519	339,155
貸倒引当金	△1,341	△6,587
投資その他の資産合計	2,270,339	2,159,148
固定資産合計	3,403,423	3,948,844
資産合計	9,676,340	11,303,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	858,445	987,808
短期借入金	36,000	225,000
未払法人税等	151,053	5,922
賞与引当金	107,626	46,438
その他	1,348,426	1,603,821
流動負債合計	2,501,551	2,868,989
固定負債		
退職給付引当金	56,465	64,850
役員退職慰労引当金	52,249	60,499
その他	294,284	1,077,533
固定負債合計	402,999	1,202,883
負債合計	2,904,550	4,071,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,666,633	2,666,633
資本剰余金	2,270,490	2,270,490
利益剰余金	1,840,974	1,991,100
自己株式	△135,017	△228,445
株主資本合計	6,643,081	6,699,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△272,372	10,779
その他の包括利益累計額合計	△272,372	10,779
少数株主持分	401,079	520,903
純資産合計	6,771,789	7,231,462
負債純資産合計	9,676,340	11,303,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	10,758,151	9,001,943
売上原価	7,211,863	5,738,996
売上総利益	3,546,287	3,262,946
販売費及び一般管理費	2,832,728	2,714,264
営業利益	713,559	548,682
営業外収益		
受取利息	1,669	6,321
受取配当金	7	455
為替差益	3,055	25,801
持分法による投資利益	93,503	113,772
その他	15,517	15,792
営業外収益合計	113,753	162,143
営業外費用		
支払利息	15,398	40,046
持分法による投資損失	42,854	30,815
出資金運用損	4,509	16,426
その他	1,797	3,001
営業外費用合計	64,559	90,290
経常利益	762,753	620,535
特別利益		
固定資産売却益	403	7
投資有価証券売却益	—	1,555
貸倒引当金戻入額	899	—
その他	0	—
特別利益合計	1,303	1,562
特別損失		
固定資産除却損	51	150
投資有価証券売却損	—	224,103
投資有価証券評価損	14,901	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,555	—
その他	170	6,904
特別損失合計	36,679	231,158
税金等調整前四半期純利益	727,377	390,938
法人税、住民税及び事業税	169,104	54,733
法人税等調整額	△128	△61,073
法人税等合計	168,976	△6,339
少数株主損益調整前四半期純利益	558,401	397,278
少数株主利益	56,146	119,823
四半期純利益	502,254	277,454

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	558,401	397,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△386,098	283,151
その他の包括利益合計	△386,098	283,151
四半期包括利益	172,302	680,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,155	560,606
少数株主に係る四半期包括利益	56,146	119,823

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	727,377	390,938
減価償却費	193,519	210,019
のれん償却額	40,484	41,708
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	982	4,244
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△56,685	△61,188
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△6,333	8,250
受取利息及び受取配当金	△1,676	△6,776
支払利息	15,398	40,046
持分法による投資損益 (△は益)	△50,649	△82,956
固定資産除却損	51	150
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	222,548
投資有価証券評価損益 (△は益)	14,901	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,555	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△356,408	△209,043
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△122,885	△505,072
仕入債務の増減額 (△は減少)	599,338	129,362
未払又は未収消費税等の増減額	24,608	△51,310
その他の資産・負債の増減額	△332,801	104,867
その他	1,353	12,025
小計	712,131	247,814
利息及び配当金の受取額	21,894	29,863
利息の支払額	△15,503	△39,846
法人税等の支払額	△126,711	△258,503
営業活動によるキャッシュ・フロー	591,810	△20,670
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△350,877	△741,804
固定資産の売却による収入	170	193,769
投資有価証券の取得による支出	△59,000	△602,331
投資有価証券の売却による収入	—	842,732
子会社の清算による支出	△13,194	—
子会社株式の取得による支出	△135,766	—
出資金の回収による収入	3,891	5,500
定期預金の純増減額 (△は増加)	—	△100,000
貸付けによる支出	△25,000	△761,000
貸付金の回収による収入	1,835	701,955
金銭債権信託受益権の取得による支出	—	△99,523
差入保証金の差入による支出	△4,167	△7,791
差入保証金の回収による収入	10,012	22,877
その他	△0	△1,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△572,095	△547,215

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	84,000	189,000
自己株式の取得による支出	△68,887	△93,428
配当金の支払額	△86	△180,991
セールアンドリースバックによる収入	25,347	747,421
リース債務の返済による支出	△68,094	△86,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,720	575,050
現金及び現金同等物に係る換算差額	141	△2,110
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,864	5,054
現金及び現金同等物の期首残高	2,602,103	2,946,002
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,594,239	2,951,056

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	コンテンツ	放送	スタジオ	技術	ネットワーク 営業	
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	1,798,330	1,880,771	1,654,241	678,748	4,746,059	10,758,151
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,798,330	1,880,771	1,654,241	678,748	4,746,059	10,758,151
セグメント利益又は損失(△)	372,000	132,216	△9,161	23,554	194,948	713,559

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容

(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益に計上した額は一致しており、記載すべき事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	コンテンツ	放送	スタジオ	技術	ネットワーク 営業	
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	1,837,829	2,102,204	1,621,839	767,492	2,672,577	9,001,943
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,837,829	2,102,204	1,621,839	767,492	2,672,577	9,001,943
セグメント利益又は損失(△)	271,793	200,830	△29,357	36,115	69,300	548,682

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容

(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益に計上した額は一致しており、記載すべき事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。